

# 見よ全國唯一の日露戰爭實記と其畫報

日露間の平和は回復せらるゝも、精確なる戰記と、從征中の美談逸事等世に傳ふべしもの尙ほ無盡藏なり。而して交戦中は、軍機の秘密に束縛せられ、最も趣味ある記事を掲ぐるを得ず。常に靴を隔て、痒を搔くの憾を免めざりき。故に最も有趣味の戰記は、今日以後始めて公にするを得べし。然るに世の戰爭雑誌は今や盡く廢刊し、我が陸海軍の戰功を不朽に傳ふべき機關は、全國を通じて唯だ博文館發行日露戰爭實記のみとなれり。故に今後奮つて本年の終まで續刊し、然る後更に明春以後は面目を新らかにして江湖に見え、以て曠古大戰勝の事蹟を遺憾なく萬世に傳へんと欲す。

## 今後二十年日本末月二戦爭實記刊續まで

明治三十八年十月

東京日本橋區本町三丁目  
博文館

景全港山群國韓



日本 機関

